

第6学年〇組 道徳科学習指導案

令和2年〇月〇日(〇) 第〇校時

授業者 教諭 〇〇 〇〇

1 主題名 誠実な生き方 内容項目 [A 正直, 誠実]

2 ねらい どのような状況にあっても常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

教材名 「手品師」(出典:「新しい道徳6」東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、内容項目A「どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。」をねらいとしている。男の子との約束を守ることに、努力によって夢を叶えることにも、正直や誠実という道徳的価値は存在する。誠実とは、他人や仕事に対して真面目で真心がこもっていることであり、何かを判断するとき、そのような誠実さを働かせることの大切さに気付かせたい。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

道徳の研修を始めるにあたって、児童の道徳の学習に対する考えや思いを調べてみることになった。アンケートの結果を集計し、その結果から今後の道徳の学習について考察をした。

① 道徳の時間は楽しいですか? はい・・・32人 どちらかと言えば、はい・・・35人

② 道徳の時間はためになりますか? はい・・・54人 どちらかと言えば、はい・・・29人

「道徳の時間が楽しいか」という質問に対して、楽しんでいる児童は多いものの、どちらかと言えば楽しくないと思っている児童は17人いる。しかし「道徳の時間はためになるか」という質問に対して、5人の児童が、どちらかと言えばいいと答えているものの、殆どの児童がためになると答えている。内容についてしっかりと受け止め、何かしら前向きに自分の今後の言動や考え方に役立てようとしているように思われる。今後も児童の思いや考えを知り、授業の改善をはかっていきたい。

本学級は男子〇〇名、女子〇〇名、計〇〇名の学級である。先日、修学旅行を経て、最高学年としての自覚をもちながら行動できていることがある一方、まだまだ幼さが残る言動や行動が見られることもある。授業中は比較的小となしい児童が多いが、考え、書く活動では、一生懸命自分の思いや考えなどを書く児童が多い。授業を行うにあたり、児童に「誠実な人ってどんな人ですか」とアンケートをとった。子供たちのもつ誠実のイメージを把握し、考えていくが、大切なものだとわかっているにもかかわらず、言動や行動が伴っていない児童がいる。そのような児童も、授業をとおして、誠実に生きることについての考えを深めていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材の主人公は、腕はいいがあまり売れない手品師で、いつかは大劇場のステージに立つことを夢見ている。独りぼっちでさみしそうにしている男の子に出会い、手品を見せて喜ばせると、明日も会う約束をする。ところが、その夜、手品師の友人から、急にステージに空きができ、大劇場への誘いの電話が入る。手品師は迷いに迷うが、友人からの誘いを断り、翌日、一人の男の子を前に手品を演じる。「誠実」を男の子との約束を守ることに限定せず、手品師が自分の夢を大切にすることの中にも、誠実さを認め、誠実な生き方について考え、ねらいとする道徳的価値に迫っていきたい。

4 学校研究主題

「自己のよさを知り、お互いを認め合える児童の育成」～道徳性を養う指導法の工夫～

5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 アンケート結果を提示し、クラスのイメージを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめで嘘をつかない。 ・ルールを守る ・優しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、誠実な人とはどんな人ですか？とアンケートを取っておき、まとめておく。多かったものを紹介する。 ・時間をかけないようにする。
展開	2 条件・状況を知る。 3 範読を聞き、話し合う。 (1) 手品師は誠実な人でしょうか。 (2) みなさんならどうしますか。 (3) 手品師にとって、本当に誠実な生き方とは何なのでしょう。	主人公：腕はいいが売れない手品師 ○誠実だと思う。 ・男の子との約束を守ったから ・男の子に嘘をついていないから ○誠実だと思わない。 ・大劇場に出ないのは、自分の夢に嘘をついているから ・大劇場に行く。 こんな機会はないから。 ・男の子との約束を守る。 約束を守りたいから。 ・男の子との約束を守ることは相手に嘘をつかない誠実な生き方だと思う。 ・自分で決めた約束を最後まで曲げないで通すのは自分に誠実な生き方だと思う。 ・大劇場に出ることは、自分の夢を叶える誠実な生き方だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・手品師の迷う気持ちを考えながら範読が聞けるような言葉がけをする。 ・座標軸を使って議論するようにする。 ・誠実と答える子が多いと予想されるので、問い返して、誠実ではないのかな？という考えも引き出せるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仮説1 (スキルのこと) 自分に置き換え、見方考え方を整理しまとめることができれば、自分の思いを伝えることができる子になるだろう。 手立て ・自分に置き換えて考え、話し合いを深めるきっかけにする。 </div> <p>☆本当に誠実な生き方について、自分とは違う意見をふまえ話し合い、考えを深めている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仮説2 (意図的な場) 意図的に、お互いの考えを表現できる場をつくることができれば、相手の考えを受け入れる子になるだろう。 手立て ・ロイロノートで、自分とは違う考えの意見を見ながら、考えを深める。 </div>
終末	4 誠実な生き方について考えたことを学級で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も他人も大切にすること ・まじめなだけでなく、思いやりもあること 	☆誠実な生き方について、自己を見つめ、記述している。

6 評価の視点

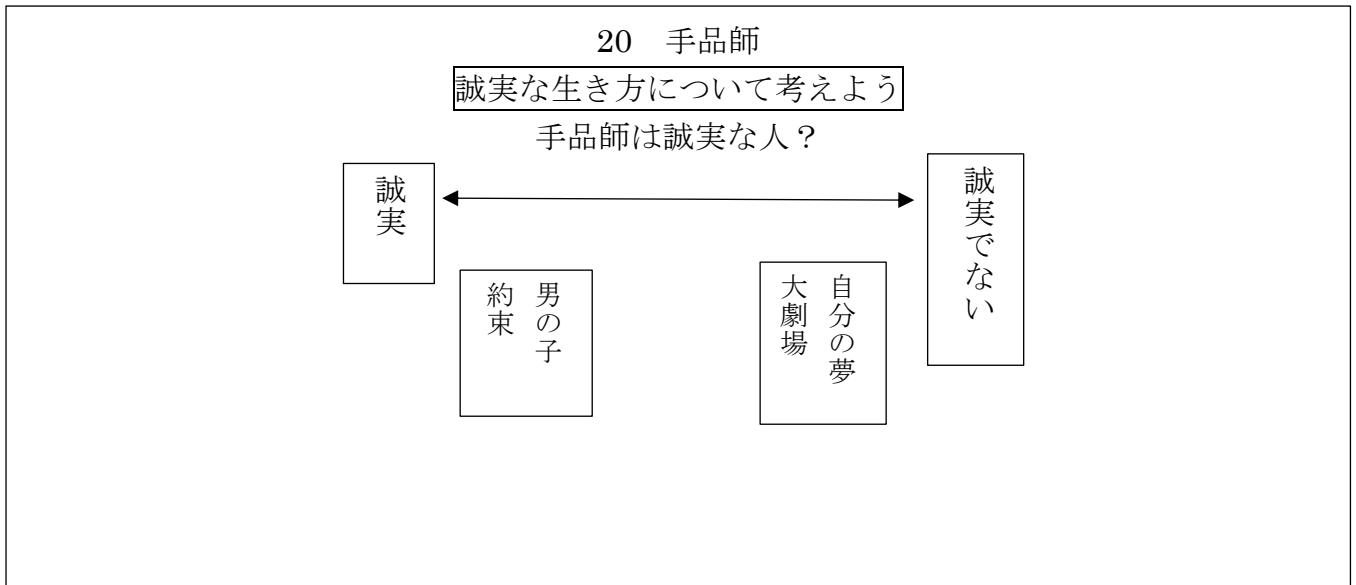
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・本当に誠実な生き方について、自分とは違う意見をふまえ話し合い、考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・誠実な生き方について、自己を見つめ、記述している。

7 板書計画



☆タブレット、テレビを中心に授業を進めていく

○ 参考文献

- ・浅見 哲也 『こだわりの道徳授業レシピ』 東洋館出版社 2020
- ・道徳教育 5月号 明治図書 2020